

アメリカの報復戦争は

どこがまちがっているか

このたたかひの相手はテロ集団です。それをとらえるために、その国にこの集団がいるということ、一つの国民に軍事攻撃をくわえ、戦争の犠牲を負わせる権利は世界のどの国にもありません。罪のない市民の犠牲は戦争が起こされた必然の結果であります。

(中略)

たたかひの目的は、テロ集団を告訴し、法の裁きのもとにおくということであり、この目的は、一つの政府を戦争や軍事攻撃によって打倒したからといって、達成できるものではありません

中野あきと事務所ニュース

# みどりと清流

2001年11月発行

第2号

発行 日本共産党 中野あきと事務所  
☎599-3350 発行責任者 小山敏正

## 反響を呼ぶ不破議長の指摘

日本共産党

第三回中央委員会

# 国際テロとのたたかひについて

“国際テロとどう立ち向かうのか”が大きな議論になっているなかで、10月19、20の両日おこなわれた第三回中央委員会での不破議長の指摘が、理性と道理にもとづくものとして、反響を呼んでいます。

ここで限られた紙面ですので、議長発言のなかの『国際テロとのたたかひについて』のごく一部を紹介します。

テロ根絶のためには

国際社会の団結が

何よりも重大

テロ根絶のために、先ずなによりも重大なことは、イスラム世界をふくめ、国際世論と国際政治の場でテロ勢力を追いつめる大同団結の輪を築くことでもあります。そしてテロという国際犯罪がどこでも許されない犯罪として告発され、非難され、テロ勢力には逃げ場のない状態を世界中につくりだす、これがたたかひの大前提であります。

しかし、開始された報復戦争というのは、この点では、国際社会の団結をこわすという、まったく逆の作用をしています。

(中略)

とくにイスラム世界では、報復戦争を認めるかどうかで大きな亀裂が生まれ、民衆の間でも反対の運動が強く起こっています。テロ勢力が、テロ活動を正当化する新しい口実をえた、また、自分たちの隠れ家や逃げ場をつくりだす新しい土壌が生まれたと、判断しても不思議ではありません。

憲法九条を持つ日本だからこそ

国連中心のイニシアチブが発揮できる

相手は凶暴な集団であります。ですから目的を達成するためには、経済手段を超えた手段が、必要とされることもあります。しかし、その場合でも、もとめられるのは、国家間の戦争ではなく、警察行動的な領域の問題です。ですから国連の主体となつてこそ、そういう問題についても、国際社会の合意と団結のもとに、行動できるはずですよ。

日本は、国連の軍事行動には憲法上参加する資格をもちません。しかし、憲法九条をもった国だからこそ、人類の未来のために、こういう危機的な問題に対しても、国連中心の対応というイニシアチブを発揮することができるとは思っています。

私はそこに憲法九条をもった日本が世界の政治に貢献すべき中心舞台があると思っています。

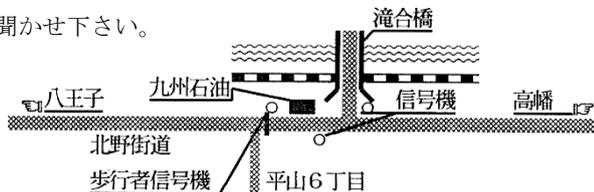
### 北野街道 平山6丁目の信号機の改善を

中野あきと

いま、私は地域の中に入り、皆さんの意見や要望をうかがう活動をおこなっていますが、その中で平山6丁目、北野街道の信号機の改善の要望がありました。

問題なのは、●車で6丁目側から北野街道に出る際に、歩行者信号のみで見づらいこと。●滝合橋側から来る車との衝突の危険があること、など、変形四叉路での危険の解消です。

早速、市の管財課へ申し入れたところ「調査して警察とも相談する」とのことでした。引き続き改善を求めていきたいと思っていますが、ご意見、ご要望を、ぜひ、お聞かせ下さい。



### 草の根から

『財政難』だからといって

子どもたちの給食にまで

手をつけるなんて許せない

「安上がり」を理由にした学校給食・保育園給食の民間委託の方針を打ち出されて以来、広がり始めた父母や市民の不安と怒りの声や運動と合わせ、この間私は議会でこの給食問題を徹底して取り上げてきました。結果、市はいったん提案していましたが今年度の民間委託の実施はストップしています。

いま、市議会には日本共産党と、一部の無党派議員を除いて、「何でも賛成」のオール与党化がすすんでいます。そのもとで、いちばん守られなければならない高齢者、障害者の福祉が、容赦なく切り捨てられてきました。

しかし、市民の皆さんの世論と運動、そして議会での粘り強いたたかひがあれば、これを打ち破っていくことはできる、そのことを給食をめぐる状況は、示していると思います。

みなさん。子どもたちの給食の民間委託化をきっぱりとやめさせるため、そして高齢者や障害者、子どもたちが本当に大切にされるまちを実現していくために、力を合わせましょう。引き続き全力でがんばります。

(中野)

路線の拡充・増便、低床式車両の導入など  
西平山地域の

ミニバスに関するアンケートから

日本共産党西平山・東平山支部では、この地域の皆さんの切実な要望であるミニバスの充実を実現してゆくために、要望アンケート調査を行なっています。すでにこれまで百通近いご協力をいただいておりますが、そのいくつかをご紹介します。

さらに、皆さんからいただいたアンケート結果をまとめて、中野議員と共に市政へと届け、寄せられた要望を実現してゆくために運動をすすめます。



◇ 駅、市役所、市立病院に短時間で行ける路線を。

◇ 一時間に一本では利用しにくい。ダイヤの改善を。

◇ バスのステップが高くて乗り降りが不便。

◇ 武蔵台住宅方面にも停留所を。駅、市立病院まで短時間で行けるようにしてほしい。いつもタクシーを利用するしかない

◇ 東平山でも、少しはここに住んで良かったと思えるような、施設や交通の便利さをつくって下さい。それができるのは共産党だけです。

◇ 通勤、通学の時間帯にももう少しダイヤがあれば利用できる。

◇ ミニバスなので座席の狭さなどは仕方ないが、個人のマナーの問題もある。



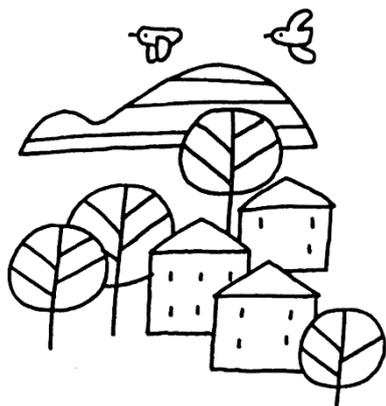
◇ この地域は、急坂を昇りおりしなくてはどこにも行けません。老人には住みにくい地域です。何本かに一本は、市立病院経由豊田行きがあるとよい。

◇ 朝六時、夜九時三十分頃迄の運行を。豊田、北野又は八王子へ短時間で。西平山五丁目のコムロ電気フジ店付近にバス停を

◇ ステップを低く。乗降口は広く、手すりもほしい。車椅子の乗降も可能に。運転はゆったりと。

西平山・豊田南地域の  
区画整理学習会  
住民本意のまちづくり

いま、西平山・豊田南地域では、区画整理による街づくりがすすめられています。日本共産党西平山後援会は、広く住民の方に呼びかけながらこの二年間、月一回のペースで(現在十六回)、中野あきと議員と共に区画整理の学習会を続けています。



《時事川柳》

☆憲法はどうでもいと弾運び  
☆常識を捨ててブッシュの尻を押し  
☆変人が舵取る船に乗る怖さ  
☆談合をオール与党が支え合い  
☆黒い霧清流またぐ橋も泣き  
☆「参画」が死角のようです市長殿

「3・3・2バイパスで環境はどうなるのか」「保留地は見込み通り処分できる見通しなのか」「清算金はどのくらい取られるのか」「移転保障にどう対応すればよいか」など、地権者、住民の方から出される質問や意見に、中野議員が答えながら、どうすれば地権者の権利がきちんと守られるのか、住民本意の街づくりをめざしてみんなで学び合いながらすすめています。

「これに参加して施行者(日野市)との交渉をどうすればよいか分かった」「自分で納得できないと感じていたことが、法にもついていた当然の主張であることがわかって、がんばる気になった」などの感想も寄せられています。少しでも疑問に感じることがあれば、黙っていないで声を上げることが大切です。ぜひ、お気軽にお越し下さい。お待ちしております。

問い合わせ先

中野あきと

☎ 591・7376

鈴木静江

☎ 581・1454

短信

「巡航ミサイルで爆撃したアフガンは戦闘地域だが、それを打った洋上は戦闘地域ではない」。

「確かにミサイルを撃つたときは戦闘行為に当たるともされないが、次に打つまでのすき間はそれに当たらない」と法制局長官。

「巡航ミサイルの場合は誘導型と非誘導型があつて、誘導型は打つても戻ってくる場合があるから、人と物を破壊しない場合もある。だから戦闘地域とはならない」と防衛庁長官。『国際協調』といえ

ば報復戦争への参加しかない首相の憲法観には驚くが、閣僚や官僚のおそまつさにもあざんとする。

▽「間違つていようが、今は憲法解釈に触れないで自衛隊を出す法律をつくらにやならない」「今から憲法解釈に触れるような議論をしているヒマはない」と石破自民党政調副会長。衆院委員会通過直後の身内の集会での発言、こちらの方が正直だ。

▽片側が完成の一番橋。四期に分けた工事の全てに談合情報飛びかき、今年度の入札では非公開の指名業者リストが事前に漏洩。それをチェックする市議会は、共産党市議団と一部無党派議員を除く会派の多数で不問に。いまや日野の市議会はれっきとしたオール与党体制。かけがえのない共産党の議席。重大な政治戦は来年二月。